会議録

会議の名称	和泉市環境審議会（令和２年度第２回）
開催日時	令和３年３月 19 日　14:00～16:00
開催場所	和泉市コミュニティセンター１階　大集会室
出席者	増田会長　巖副会長（専門部会長）　浅井副会長 藤田委員（専門部会委員）　竹中委員　吉田委員　坂本委員 関戸委員　大谷委員　山本委員　河合委員（専門部会委員） 辻林委員　友田委員　石井委員　橋本恵委員 梁取委員（専門部会委員）　橋本隆次委員（専門部会委員） 辻委員（専門部会委員）　稲井委員（専門部会委員） （以上 20 名　順不同）
事務局	環境保全課
会議形態	公開
会議の議題	■議事 (1) 会長及び副会長の選出について (2) 第３次和泉市環境基本計画（案）の諮問について (3) パブリックコメント及び専門部会での意見等について (4) 第３次和泉市環境基本計画（案）の概要について (5) その他
会議の要旨	○会長に増田委員、副会長に巖委員、浅井委員が就任した。 ○第３次和泉市環境基本計画（案）の諮問を行った。 ○パブリックコメント及び専門部会の意見等に基づく修正箇所等について概要の説明、質疑、審議を行った。 ○第３次和泉市環境基本計画（案）について概要の説明を行った。 ○その他の議事として、和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会の活動報告、和泉市環境マネジメントシステム(I-EMS)による環境管理活動についての説明、質疑、審議を行った。
会議録の作成方法	□全文記録 ☑要点記録
記録内容の確認方法	☑会議の議長の確認を得ている □出席した構成員全員の確認を得ている □その他（　　）
議事要旨 【主な意見等】	（１）会長、副会長の選出について 【委員】 会長はこれまでの経験から大阪府立大学名誉教授の増田先生

	にお願いしたいと思います。また、副会長は桃山学院大学教授の巖先生、並びに町会連合会副会長の浅井様が適任だと思います。 【事務局】 　会長には大阪府立大学名誉教授の増田様、 　また、副会長には、桃山学院大学教授の巖様、 　並びに、町会連合会の副会長の浅井様、というご提案をいただきました。委員の皆様いかがでしょうか。 【全委員】 　異議なし 【事務局】 　異議なしとのお声をいただきましたので、 　会長には、大阪府立大学名誉教授の増田様 　副会長には、桃山学院大学教授の巖（いわお）様、 　並びに、町会連合会の副会長の浅井様にお願いしたいと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。 （２）第３次和泉市環境基本計画（案）の諮問について 【諮問内容】 　和泉環第 2850 号　令和３年３月 19 日第３次和泉市環境基本計画（案）について（諮問)。和泉市環境基本条例第 21 条第 2 項の規定に基づき、下記のとおり諮問します。和泉市の環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画である「第３次和泉市環境基本計画」について和泉市環境審議会の意見を求めます。 【増田会長】 　本件につきまして、当審議会において審議をおこない、後日、答申させて頂きます。 　さて、基本計画の作成にあたり、部会長としてご尽力いただきました事務局から計画の概要について説明お願いします。巖副会長より、ご挨拶と、専門部会での審議の状況等についてお伺いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

	【巖副会長】 　和泉市環境基本計画専門部会の部会長をさせていただき、2 年間計画案の作成に関わってきました。部会委員の活発なご意見で良いものができたのではないかと思います。2 年前から随分時間をかけて用意すると思っていましたが、あっという間に時間が経ってしまいました。実際に部会として集まった回数は多くはありません。２月に最後の部会を開きましたが、たくさんの意見を頂戴して最後までブラッシュアップして良いものになったのではないかと思っております。委員をしていただいた皆様には感謝申し上げます。 【増田会長】 　ありがとうございました。詳細については、事務局からご説明いただければと思います。 （３）パブリックコメント及び専門部会での意見等について 【事務局】 　はじめに、前回の審議会以降に、パブリックコメント及び専門部会で頂いた意見等に基づき修正した点を説明させていただきます。今年の１月４日から１月 29 日までパブリックコメントを募集した結果、３つのご意見をいただききました。 　１つ目に、「コラムに目次が欲しい」とありました。こちらにつきましては、目次を追加しました。 　２つ目に、p. 36 に「今回新たにモニター指標という項目が追加されているが、実際に運用可能なのか」という質問を頂きました。担当部署と協議し再検討した結果、「地域清掃に取り組む団体数（団体数/年）」を、「地域清掃の回数（回/年）」に修正いたしました。 　加えて、先日の専門部会にてご指摘いただいたご意見に基づき、p. 36 の表の「目標」欄を修正いたしました。例えば、一番上のところ、「１．参加・協働」と記載しておりましたが、参加・協働に括弧をつけて、後ろに記載しました。目標２から５についても同様に修正いたしました。 　３つ目に、「ゼロカーボンシティ宣言について、市はどう考えているか」とのご意見をいただききました。先の専門部会でご審議いただいた結果、巻末の用語集への追加とコラムの追加という

	形で対応いたしました。 　続きまして、専門部会等で頂いた意見に基づき修正した点ですが、まず、菅（すが）首相がカーボンニュートラルについて所信表明演説を行ったことを受け、該当箇所を修正致しました。 　次に、専門部会にて基本目標のタイトルの書き方を統一した方が良いとご意見をいただきましたので、p. 41 等、5 つの基本目標のタイトルの書き方を修正しました。 　次に、文中のアスタリスク（＊）の説明箇所を増やしてほしいとのご意見をいただきましたので、概要説明部分と用語集の欄に追加しました。 　次に、関連計画の改定に伴い、p. 35 の表の目標欄と現状値及び目標値を修正し、表の一番下に注釈を新たに記載いたしました。 　次に、p. 37 の文章の言い回しを一部修正しました。 　最後に、目次の上部に「本計画の概要」及びページ数を追記しました。 　なお、“てにおは”　などの計画の中身に直接影響しない修正について、事前に委員の方からご指摘をおりますが、本日の審議会後に事務局により一括で修正させていただき、後日増田会長にご確認いただく予定です。 【増田会長】 　委員の皆様、ご質問等ございますでしょうか。 【委員】 　ゼロカーボンシティ宣言について、新たに追加したコラムに 1 月 29 時点のデータを掲載されておりますが、もし修正可能であれば、最新のデータに更新いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。 【事務局】 　事務局で確認したところ、３月 18 時点で 329 自治体が宣言されていると記載があります。資料では 211 自治体ですが、この間に 110 程度増えています。大阪府でも宣言自治体が 10 市に増えています。この計画は３月末策定を予定しているので、印刷時点で最新のものを掲載させていただきたいと思います。

	【増田会長】 　再度修正させていただいて、このデータは差し替えるということで確認がとれました。 　専門部会の皆様ありがとうございました。パブリックコメントと専門部会の意見を受けて修正した最終案の概要について、議事（４）で事務局よりご説明いただきたいと思います。 （４）第３次和泉市環境基本計画（案）の概要について 【事務局】 　第３次和泉市環境基本計画の策定前の最終段階として、全体の概要について再度ご説明します。本編はボリュームがあるため、概要版を作成したので、概要版でご説明いたします。 　p. １のⅠで背景と目的、Ⅱで計画の位置づけについて記載しております。 　Ⅲ．計画の対象及び期間ですが、対象区域は和泉市全域とし、計画期間は令和３年度から令和 12 年度までの 10 年間としています。 　Ⅳ．望ましい環境像ですが、第１次計画当初から環境像である「みんなの環(わ)でひろげる「すくすく環境、わくわくいずみ」」を望ましい環境像としています。 　Ⅴ．基本目標では、「みんなで考え取り組むまちをつくる」など５つの基本目標を設定し、「望ましい環境像」の実現に向けて取組みを進めます。 　p.2、3 には、Ⅵ．目標値等・基本施策を記載しております。５つの基本目標を柱に、それぞれの代表指標、目標値、モニター指標、基本施策、取組方針を定めています。 　第３次計画では、目標値を定めて取組を進める「代表指標」と、目標値を定めるものではないが目標達成に向けた取り組みの推進について、その動向を把握するために設定する「モニター指標」の２つに分けて定めている点が、２次計画と大きく異なります。具体的な目標の内容、数値等については表の通りです。 　Ⅶ．重点プロジェクトについて、第３次計画では、「気候変動対策」、「生物多様性の保全」、「循環型社会の形成」の３つを優先的に取り組むべき項目として位置づけています。 　p.4 にはⅧ.計画の推進に向けた方策として、「計画の推進体制」及び「計画の進行管理」を記載しております。

	第３次計画では、庁内連絡会や環境審議会等を通じて、PDCAサイクルに基づき、継続的改善を図りながら本計画の進行管理を行っていく予定です。 今後 2030 年度まで 10 年間、第３次計画に基づき各取組を進めます。第２次計画と同様、５年後に中間見直しを行う予定です。 【増田会長】 議論を重ねて、現在ご説明いただいたようにとりまとめたいということですが、何かお気づきの点はございますでしょうか。 特に意見がないようですので、委員の皆様にすべてご了解いただいたと判断いたします。微細な文言の修正については、後日確認させていただき、会長一任で修正させていただきます。 本日の大きな議題である第３次和泉市環境基本計画（案）の答申案がほぼ確定したと思います。皆様のご尽力のおかげです。ありがとうございました。特に、専門部会の皆様には鋭意議論を重ねて頂きまして、非常に先進的な計画ができたのではないかと思っております。 議事（５）にその他があるが、事務局から説明ございますか。 （５）その他 【事務局：説明概要】 その他の案件の１つ目として、和泉市信太山丘陵里山自然公園協議会についてご説明いたします。毎年報告しているものですが、現在は都市整備室公園緑地担当が主担課となり、令和６年度の開園に向けて公園づくりを進めています。こちらは、「信太山丘陵里山自然公園」計画地における活動の経過を記載したものです。 まず、現地での自然環境保全活動作業等について、令和２年度は２月末までの活動で、延べ合計 335 名の参加がありました。 令和２年度の特記事項として、平日の自主活動も広く参加者を募集して実施したことが挙げられます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、土日に開催していた令和２年３月から７月の定例活動が中止となりました。 次に、保全管理講座（信太山里山講座）について、令和２年度

	は計６名の参加申込があり、修了見込の方が３名いらっしゃいます。特記事項として、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、修了式を開催できなかったため、令和元年度は担当部署より修了証を郵送しており、令和２年度も同様に郵送する予定と伺っています。 　次に、市民参加による自然観察会について、令和２年度は緑の自然観察会を９月 21 日に実施しました。冬の観察会である生きもの観察会は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言下であったため中止しました。 　また、業務委託により地元の NPO 団体や増田会長や巖副会長をはじめとした学識経験者の方々との会議等の実施状況について、資料の通りまとめております。 　参考資料として、それぞれの活動記録をまとめた活動日誌を添付しておりますので、またご確認ください。 　続きまして、その他の議題の２つ目として、和泉市環境マネジメントシステム(I-EMS)による環境管理活動についてご報告いたします。 　今回は、平成 30 年度の結果と令和元年度における本庁舎内での、環境負荷軽減の取組み結果をご報告いたします。電気使用料や水道使用料が大きく削減されておりますが、これは新庁舎建替え工事の一環として、平成 30 年度途中に４号館、５号館の除却工事があったこと、また、当時八角塔内にあった食堂がなくなったこと等が、主な要因と考えています。その他の項目の変化については、表の通りです。 　また、環境監査の実施について、例年２月頃に各部署の環境監査員が他部署の内部監査を実施していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下であったため、監査員がそれぞれ自身の部署の監査を行いました。説明は以上です。 【増田会長】 　その他の議題について、ご質問等はございますか。 【委員】 　電気使用量について、平成 30 年度から令和元年度で使用量が 10%弱減少しておりますが、これは LED の導入効果も考えられま

	すでしょうか。 【事務局】 　LED の導入により電気使用料が削減されたのか、ということですが、古い庁舎には LED は導入しておりませんので、LED による導入効果ではないと考えております。新庁舎では、主に LED 照明が使用されると伺っております。 【増田会長】 　信太山丘陵里山自然公園協議会の活動について、令和３年度に公園の一部の暫定利用が始まります。令和６年の開園を待たずに、市民の方々が自然の観察や散策ができる状況まで、現在議論が進んでいます。補足させていただきます。 　その他の案件についても滞りなくご報告いただき、共通の理解が進んだと思います。 　本日予定していた案件については全て終了しました。この際、委員の皆さまからご発言ありますか。特にないということで、本日はスムーズな進行にご協力いただきありがとうございました。 【事務局】 　ありがとうございました。これをもちまして、令和２年度第２回和泉市環境審議会を閉会させていただきます。 以上